第24回東御市農業委員会定例総会議事録

東御市農業委員会

委員出欠表

第24回定例会 令和7年3月28日

開会 13時30分 閉会 15時00分

出席委員
(20名)

会長 依田 繁二
1 小野澤 文利 13 田中 章
2 笹平 民男 14 柳澤 大作
3 檜原 龍太郎 15 上原 真由美
5 小野 高男 17 武舎 和久
7 小宮山 信幸 18 山田 貴司
8 保科 正行 推進 上原 敦夫
10 井出 藤男 推進 五十嵐 秀人
11 田口 千秋 推進 伊藤 茂
12 比田井 尚良 推進 白石 文生
推進 大塚 和信

欠席委員

会長代理 船田 寿夫 6 杉田 修司 16 北沢 秀則

議事録署名委員

18 山田 貴司 1 小野澤 文利

出席職員
(7名)

農業委員会事務局
事務局長 重田 雄一
事務局次長 小林 誠司
事務局 佐藤 一弥
事務局 黒澤 しほ
事務局 鈴木 優
事務局 堀 涼佳
事務局 小林 千恵美

議事

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
議案第2号 農地法第5条の規定による適格者証明について
議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について
議案第4号 農用地利用集積計画について
報告第1号 農地法第4条の規定による届出について

第10回農業経営改善計画認定意見聴取について

※ 会場 勤労者会館 2階 大会議室

事務局

本日は船田代理、杉田委員、北沢委員がお休みになりますので、出席予定の方が全員揃いましたので、第24回農業委員会定例総会並びに全員協議会を開会させていただきます。

続いて、会長から会長挨拶、議事録署名委員の指名と引き続き議事進行につきましてもお願いします。

会長

早速、3月の会議の内容に入りますので、よろしく申し上げます。3月は7日に地域計画全体会議が行われましたが、これは地区毎に委員として出られている方は承知していただいているかと思えます。10日に6次産業化推進協議会の会議が行われまして、14日に農業振興審議会が開催され、これは現場の審査でなくて第3次東御市農業振興計画案の答申書を作成し市長に提出をさせていただきました。21日は役員会が開催されました。以上が主に行われた会議です。

それでは、議案に入りますが本日の議事録署名は、18番の山田委員と1番の小野澤委員をお願いします。

第1号議案、農地法第3条の規定による許可申請について、本日は2件の案件がありますので、事務局より説明をお願いします。

事務局

議案第1号、農地法第3条の規定による許可申請について説明します。

3-1 ○○番、図面は1ページをご覧ください。○○から○○メートルほど○○にある農地です。譲渡人は、○○の方です。譲受人は、○○の方です。譲渡人は、相続により農地を取得しましたが○○に在住のため譲り受けるものです。譲受人は、すでに耕作しており正式に譲り受けるものです。申請地では、トマトなどを栽培しています。譲受人自宅から徒歩○○分で、問題ないと判断しました。

3-2 ○○番、図面は2ページをご覧ください。○○から○○メートルほど○○にある農地です。譲渡人、譲受人ともに○○の方です。譲渡人は、○○により耕作出来ないため譲り渡すものです。譲受人は、経営規模拡大のため譲り受けるものです。取得後は、ブロッコリーなどを栽培する予定です。譲受人自宅から徒歩○○分で、問題ないと判断しました。

議長（会長）

ありがとうございました。それでは、番号1の案件につきまして、

船田代理に説明をしていただきますが、今日は欠席していますので、事務局が説明した内容でご質疑をお願いしたいと思います。ご意見ご質問のある方は、挙手の上発言をお願いします。ないようですので、番号1の案件につきまして、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございました。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして、番号2ですが〇〇本人から議案の提出がありましたので、〇〇につきましては大変恐縮ですが退室をお願いします。それでは番号2の案件につきまして、武舎委員より説明をお願いします。

武舎委員

場所は資料の2ページをご参照ください。事務局より説明がありましたように、〇〇から約〇〇メートル〇〇の方へ移動したところです。譲受人の〇〇の裏手になりますが、道を挟めば2～3秒でその土地へ着くという状況で、非常に環境はいいということです。また譲渡人が〇〇歳で〇〇も一緒にいますが、この土地は放置されていて、昨年も譲渡人と譲受人が話をして草刈をしていますので、今回、隣の土地をぜひということで話し合いが進み、合意に至っています。ここの地目は田ですが、現実には畑としてブロッコリー、葉物野菜をやっていくということで話を聞いています。また、〇〇はご承知のように人柄もとともよく、〇〇地区では中心的な人物ということで、何ら問題もなく周辺も住宅の中の1つの畑になっていまして、ここも綺麗にしてもらえば、ありがたいというようなことでお話も聞いています。問題ないと思いますので、ご審議よろしくをお願いします。

議長（会長）

ありがとうございました。番号2の案件につきまして、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

五十嵐委員

1つ教えてください。地目が水田で畑として使っている場合に地目変更をなさらないのは、どうしてでしょうか。水田だと私の地域では、反別割でお金を毎月お支払いし、それで水利の確保をしていくというようになっています。これが地目変更して畑になれば、当然水利権を返すわけですから、そういうお金も発生しません。

事務局

ただいまの質問にお答えします。現況が畑として使っているからといって水路が近くにあると、田んぼとしていつでも扱える状況にあるので、必ずしも畑に変更が出来るわけではありません。実際水路を潰して使えない状況にしないと、畑には変えられないことを考えると、変えない方がいらっしゃるかと思います。

議長（会長） よろしいですか。

五十嵐委員 水利を潰さない、地目は変更出来ないということですか。

事務局 現況を評価していく中ではそこを見るので、最終的な判断は法務局になってしまうので、法務局の方と相談して出来る方法を考えていくというところです。

田口委員 昔、田んぼであったものを今回申請人が畑として使っていくのでしょうか。

事務局 田口委員のご質問にお答えいたします。今回の申請地については、登記簿が田んぼで現況が畑になっています。この現況の畑は譲受人が畑にした、もしくは、していくということではなくて、譲渡人が畑として使っていたものを、畑として、譲受人にお渡しするというものです。田口委員がおっしゃるように田んぼから畑にして、それで何かするというような農地ではありません。

議長（会長） よろしいですか。

田口委員 はい。

白石委員 五十嵐委員の質問についても知りたいので、法務局が最終的なところですが、地目変更にするまでの手順を調べて教えていただけるとありがたいと思います。

事務局 わかりました。具体的なその手順は調べて、また回答させていただきます。

議長（会長） 次回の4月の定例総会で報告をしてもらうように、事務局の方でお願いしたいと思います。他にありませんか。

小野委員 地目として登記と現況が違うことは、何かいけないことがありますか。

事務局 不動産登記法という登記の法律の中で、1ヶ月以内に現況に合わせて、登記の地目変更を所有者がしなければならないという決まりがある

ので、本来であれば、この案件もそうですが、畑にした段階で畑に登記が変更出来るかどうかの相談を法務局にすべきで、地目変更をかけてしまうべきでした。ただ、なぜずっとやらなかったというところに関しては、出来ない場合もあるし、やり方がわからなくて放っておいた、田んぼが畑なので農地から農地なので、問題ないと思っているというパターンがあるので、こういった事例はあると考えているところです。ただ、小野委員がご心配されている農地から農地以外への変更については違反転用ですので、それについては、課税は高い課税になる上に、場合によっては罰せられるというような状況になりますので、お願いしたいと思えます。

議長（会長） よろしいですか。

小野委員 はい。

議長（会長） 他にありませんか。ないようですので、採決に入ります。賛成の方は挙手をお願いします。

（全員挙手） ありがとうございます。全員賛成と認め、決定といたします。

議長（会長） ○○、入室をお願いします。それでは、第2号議案、農地法第3条の規定による適格者証明について、事務局より説明をお願いします。

事務局 議案第2号、農地法第3条の規定による適格者証明について説明します。農地法第3条の規定による適格者証明ですが、競売農地の入札参加にあたり、参加者が農地を所有する適格者かを証明するものとなります。そのため、申請者は適格者の証明を受けた後に競売の入札に参加し、落札出来た際には改めて農地法第3条の規定による許可申請を経て所有権移転をするものです。

番号1 ○○番○○筆、図面は3ページをご覧ください。○○から○○メートルほど北にある農地です。競売の案件です。譲渡人、譲受人ともに○○の方です。譲渡人は、すでに一部の農地を耕作しており正式に譲り受けるものです。○○番には、○○が建っており○○番○○は少し荒れている状況ですが、取得後は伐採し耕作出来る状況にします。申請地では、ナス、ピーマンなどを栽培予定です。譲受人の自宅から徒歩○○分で問題ないと判断しました。この案件について、入札は○○月にあります。なお、冒頭申し上げましたとおり、本案件の申請者が落札者となり、所有権移転に伴う農地法3条申請が提出された際に、本申請と同

一内容の場合は、専決処理できることについても合わせてご審議をお願いいたします。

議長（会長） ありがとうございます。それでは、番号1につきまして、武舎委員より説明をお願いします。

武舎委員 場所につきましては3ページをご覧ください。〇〇から〇〇の道沿いにあります。譲受人の〇〇の前にある土地です。譲受人は〇〇です。〇〇に〇〇年ほど前に移住されて、そのあと建物付きの土地を〇〇として購入されて、現在に至っています。野菜等を作りながら、主はリンゴとブドウで、〇〇の中でも親しく皆さんとやらせていただいているという状況です。前の土地が最初は放置されていた土地で、近いし、土地が悪くないので、譲渡人の方と話し合いでお借りするということで合意に至っていますが、金銭の授受はありませんでした。これがずっとそのまま荒らさずに野菜等を作ってきましたが、今回競売に上がったということで、急遽、土地を購入してそのまま引き続き耕作をしていくということです。これは農地の競売等で取得する場合は、農業委員会の許可を得るということが農地法で決まっていますので、買い付け適合証明書をここで承諾をしたら裁判所に出してから、競売に参加するということになっています。譲受人の農業経験は、もう〇〇年を超えているということと、〇〇で農業をされていて成り立っているということで、この土地は自分たちの自給自足分の野菜、他に土地があるところに植え付けるための苗を作るということです。問題ないと思いますので、承認をお願いしたいと思います。

議長（会長） ありがとうございます。それでは、番号1の案件につきまして、ご質問ご意見ある方は、挙手の上発言をお願いします。

伊藤委員 競売は他にまた欲しいという人がいたら、値段で落とすのですよね。この農業委員会の承諾があったら、この方は優先的になるということですか。

事務局 優先的になるわけではなく、今回の証明はあくまで競売に参加するための証明になるので、例えばまた別の方が今回この申請地に競売に参加したいという申請あればまた適格者証明を出して、その中で一番高い金額で落札した方が取得出来ます。

議長（会長） よろしいですか。

伊藤委員

はい。

議長（会長）

他にありませんか。ないようですので、採決に入ります。賛成の方については挙手をお願いします。

（全員挙手）

ありがとうございました。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして、第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請について、今回は4件の案件が出ています。事務局より説明をお願いします。

事務局

第3号議案、農地法第5条の規定による許可申請についてです。

5-1 ○○番、所有権移転です。資料は4ページ、5ページ、6ページをご覧ください。場所は○○の○○にある農地です。○○の申請です。譲受人は○○の方、譲渡人は○○の方です。譲受人は申請地にて乗用車駐車場○○台、事業用車両○○台、合計○○台の○○事業を計画するもので、譲渡人は譲受人の申出に応じたものです。第2種農地で代替性がないということで、転用はやむを得ないと判断しました。

5-2 ○○番○○筆、所有権移転です。資料は7ページ、8ページ、9ページをご覧ください。場所は○○の○○にある農地です。○○の申請です。譲受人は○○の○○、譲渡人は○○の方他○○名です。申請者は○○の○○の依頼を受けて、○○の○○を集め、○○の業者まで運搬する新規事業を請け負うこととなったため、申請地を譲り受け、○○と○○を計画するもので、譲渡人は譲受人の申出に応じたものです。なお、申請地は○○年○○月に農振除外済です。第1種農地ですが、特別な立地条件を必要とする、○○、○○の沿道区域の○○のため、転用はやむを得ないと判断しました。

5-3 ○○番○○筆、所有権移転です。資料は10ページ、11ページ、12ページをご覧ください。場所は○○と○○区の間にある農地です。○○敷地の申請です。譲受人は○○の○○、譲渡人は○○の方です。譲受人は申請地に○○を設置したいとのことです。申請地における○○は○○枚で、配置は図面12ページを参照してください。雨水対策及び地元協定等については、○○に関するガイドラインの基準をクリアすることを前提に生活環境課と現在協議中とのことです。準工業地域で用途地域内の第3種農地のため、転用は問題ないと判断しました。

5-4 ○○番、所有権移転です。資料は13ページ、14ページ、15ページをご覧ください。場所は、○○地内にある農地です。○○、○○の申請です。譲受人は○○の方、譲渡人は○○の方です。申請者は隣接地の宅地で新たに○○を開業し、合わせて申請地を譲り受け、○○、

〇〇とするもので、譲渡人は譲受人の申出に応じたものです。工業専用地域で、用途地域内の第3種農地のため、転用は問題ないと判断しました。

議長（会長） ありがとうございます。それでは、番号1の案件につきまして伊藤委員より説明をお願いします。

伊藤委員 資料の4ページ、5ページ、6ページを見てください。この〇〇をする〇〇は、〇〇の〇〇に頼まれてお手伝いをしています。〇〇の〇〇から〇〇街道に上がっていく途中の右側に、〇〇の下請けで〇〇があり、そこに〇〇が欲しいということです。〇〇からこの荒れていた敷地を譲っていただき、仕事を始めて敷地に〇〇が〇〇台あり手狭になりました。問題ないと思いますので、審議のほどよろしくをお願いします。

事務局 ありがとうございます。それでは、番号1の案件につきまして、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

五十嵐委員 5ページの図面を見みていると、アクセス道路というのは、〇〇番という宅地を通して〇〇番に入るとと思いますが、アクセスは問題ないのでしょうか。

議長（会長） アクセス道路について事務局より説明をお願いします。

事務局 五十嵐委員のご質問にお答えいたします。道路の関係ですが6ページの図面を見ていただくとわかるかと思いますが、前面道路から出入口である宅地〇〇番の申請地に行く内容になっています。この宅地ですが奥へ続く畑と所有者が同じになっています。〇〇番は宅地ですので、特に申請はなく合わせて所有権を移転するということになりますので、〇〇番の筆と今回申請された〇〇番を合わせて所有権移転されるということでお話を聞いていますので、問題ないと考えています。

議長（会長） ありがとうございます。よろしいですか。

五十嵐委員 はい。

議長（会長） 他にありませんか。ないようですので、採決に入ります。番号1の案件につきまして、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございました。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして、番号2の案件につきまして、武舎委員より説明をお願いします。

武舎委員

場所については、7ページ、8ページ、9ページをご覧いただきたいと思います。〇〇と〇〇の間に位置しています。〇〇の横であり、〇〇年ほど前までは荒れていましたがそこを伐採し、〇〇年待つて今回の申請に至ったということです。地権者が〇〇いますが、ほとんどは手を出していない状況です。譲受人の〇〇は、〇〇の〇〇で〇〇はこの土地を取得して、また新しい事業を展開するということです。この土地を全部トータルすると約〇〇平方メートルで、〇〇平方メートル以上だと事業の信性など色々な問題がありますが、県に問い合わせをして特別の申請はよいということになっています。また、隣接する土地所有者に対しては、理解を求めて合意を得ているということです。〇〇の道沿いですので、すっきりすれば景観もよくなり、また事業展開もきちんとしていただける業者と判断していますので、問題ないかと思います。ご審議よろしくをお願いします。

議長（会長）

ありがとうございました。番号2の案件につきまして、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

保科委員

1筆ため池がありますが、扱いはどうなのでしょう。

議長（会長）

ため池の扱いについて、事務局をお願いします。

事務局

保科委員のご質問にお答えいたします。おっしゃるとおり〇〇番、ため池〇〇平方メートルという筆がありますが、本来、ため池であればもう農地でないので転用は不要という考え方になりますが、先ほど武舎委員のお話にありまして、当時、ここはため池ではなくて荒れ果てた農地の一部と化していたところを、農地に復旧をしたという経過があります。農地に復旧をしたので、現況が農地という状況になりました。そうすると、登記の地目はため池ですが現況農地で、現況農地になった段階で農地法の適用を受けるという判断の中で、今回、合わせて申請をいただきまして、すべて転用の申請になったということです。

議長（会長）

よろしいでしょうか。

保科委員

はい。

議長（会長） 他にご質問ありませんか。

白石委員 今の質問の関連ですが、今、地目がため池になっているということは、農地ではないけれども今回の転用をしなければいけないということですか。

事務局 おっしゃるとおり地目は農地でないため池ですが、現況が農地である畑になっているため、農地法は現況主義という考え方がありますので、現況が畑であれば、原則的には農地以外に変える場合については転用の申請が必要で、ため池から農地に復旧し、その段階で現況が農地になります。それを農地以外にするという計画ですので、農地以外にするためには転用の申請が必要ということで、今回申請に至ったという流れです。

議長（会長） 今の説明でよろしいでしょうか。

白石委員 はい。

議長（会長） 他にありませんか。ないようですので採決に入ります。番号2の案件につきまして、賛成の方は挙手をお願いします。

（全員挙手） ありがとうございます。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして、番号3の案件につきまして、小野委員より説明をお願いします。

小野委員 場所は〇〇の道向かいの〇〇側の土地です。〇〇と〇〇は〇〇段丘で段差の傾斜部分が今回の該当する土地です。〇〇人の持ち主がいて〇〇の方がいらっしゃらない状況です。今は〇〇に貸していると思います。〇〇の状況はわかりませんが、今度は〇〇からその〇〇の業者さんに土地を売るということです。売る〇〇という業者さんは、〇〇の業者さんで、もともとは〇〇さんです。〇〇年からやっている〇〇で、資本金が〇〇円で売上〇〇円ぐらいまでずっと毎年ありますので、大きな〇〇かと思っています。11ページ、12ページを見ていただくと、計画を立ててやられていますので、安心して売却できるかと思っています。非常に傾斜で使いにくい土地ですが、唯一〇〇で使っているということです。売る方も売り切りで、非常にいいかと思っていますので、ご承認いただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

議長（会長） ありがとうございます。番号3の案件について、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

檜原委員 ○○はここで野菜を実際に作っていたのでしょうか。

小野委員 ここはかなり広範囲で○○が借りて、白菜を作っています。キムチのもとを実際に作っています。

議長（会長） ただいまの説明でよろしいでしょうか。

檜原委員 はい。

議長（会長） 他にご質問ありませんか。ないようですので、採決に入ります。番号3の案件につきまして、賛成の方は挙手をお願いします。

（全員挙手） ありがとうございます。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして、番号4の案件につきまして、五十嵐委員より説明をお願いします。

五十嵐委員 場所は○○で○○から下りてきたところで、○○、○○、○○等があるところ。今回購入を希望しているところは、工場専用用地で宅地にはならないという場所です。○○は○○から○○で来られた方です。水田を買われて自分で作ったお米を自分で食べたいと言っている方です。13ページを見てもらうと、網がかかったところが今は空き地になっていまして、その前に小さい四角が書いてありますが、ここは昔、○○をやっていた建物です。網掛けの部分を買われて、前の○○をやっていたところを借りて、○○のお料理を出して○○をやるということです。○○をお持ちで、○○もやるという方です。○○も隣接して造ると言われたので、○○されると血であったり油であったり色々心配なので、その辺はどうですかと聴いたら、○○工事としてはコンテナを持ってきてやります、その排水等は下水に流す前に、ため柵を造る方法を指導されていますということなので、それを全部やってから下水に放出することなので、別段問題はないかと考えています。

議長（会長） ありがとうございます。番号4の案件につきまして、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

檜原委員 譲受人の○○はお幾つぐらいの方ですか。

五十嵐委員 ○○歳位です。

議長（会長） よろしいですか。

檜原委員 はい。

議長（会長） 他にご質問ありませんか。

小野澤委員 五十嵐委員の説明の中で、○○を○○して○○を出すという話ですよ。○○して、○○を造るのに何か問題はないのかという気はします。周辺の問題、許可の問題、周辺の皆さんの了解、その辺は何か説明はありましたか。

五十嵐委員 建物の関係はコンテナでやるということは聞いています。ご近所さんには説明をしてあり、隣接する土地、その前の○○の地主さんにも話をして、承諾を得ているという書類をいただいていますので、その辺の話は進んでいるようです。

議長（会長） 事務局から説明をお願いします。

事務局 ただいまの小野澤委員のご質問にお答えいたします。○○施設の許可の関係ですが、規模等にもよりますが、基本的には必要です。当初、担当の耕地林務係に確認したところ、本件に関して許可等は必要ないということでした。○○の○○というよりは、ここから出たる廃棄物、五十嵐委員がおっしゃっていたように血、油、肉よりも骨、内臓の処理をどうするかというところを環境部門と調整中ということでお聞きしています。

議長（会長） 小野澤委員、よろしいですか。

小野澤委員 はい。

議長（会長） ○○の処理場の場合には、色々な許可、細かい申請は原則あると思いますが、県の対応の範囲内でやっていけばいいと思います。他にご質問ありませんか。ないようですので採決に入ります。番号4の案件につきまして、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手) ありがとうございます。全員賛成と認め、決定いたします。ただいまから、5分休憩します。

休憩

議長（会長） 再開させてもらいます。第4号議案に入ります。第4号議案、農地利用集積計画について、説明をお願いします。

事務局 第4号議案、農用地利用集積計画3月分について説明します。資料の5ページから6ページが通常の利用権設定です。16件、33筆、合計50,178平方メートルです。資料の7ページが所有権移転です。4件、9筆、合計13,495平方メートルです。資料の8ページから9ページが中間管理事業を使った利用権設定です。25件、36筆、合計54,837平方メートルです。追加でお配りした資料は中間管理事業を使った利用権移転です。21件、23筆、合計28,676平方メートルです。全体の合計は、66件、101筆、合計147,186平方メートルです。

議長（会長） ありがとうございます。それでは、関係する担当の方はよく見ていただき、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

小宮山委員 借賃に関して最近の動向を聞きたいのですが、2～3年前の頃に比べて昨年の平均値が結構上がってしまっていて、今年度の集計が出ているかどうかわかりませんが、昨年並みなのか少し上がっているのか、その辺をお聞きしたいと思います。

議長（会長） 現況を報告してください、事務局お願いします。

事務局 毎年出している賃借料の情報についてですが、こちらは暦年の1月から12月で集計を出しています。令和6年については12月分まで集計はさせていただいていますが、傾向としてはここ数年の状況を見ますと、田んぼと東部地区のブドウについては、若干上がっている傾向にあると思いますが、畑については5,000円前後というところで推移をしている状況です。北御牧地区については、3,500円程度で推移をしているので、あまり変わっていない状況かと思えます。新規については、新たに借賃を設定しますが、更新については金額は据え置きでやるケースも多くありますので、肥料、米の物価などの値上がりがあるがそこまで賃料には影響はしていないのかと思えます。

議長（会長） よろしいですか。

小宮山委員 はい。もう一つお聞きしたいと思いますが、来年度から利用権の関係がなくなると聞いていますが、今後、貸し借りの調整、手続きは、具体的にはどうなるのでしょうか。

事務局 中間管理になった場合ですが、引き続き貸す方、借りる方はお互いに話をして何年貸すか、10アール当たりいくらで貸すのか決めていただいて、それを農業農村支援センターへお伝えいただいて、農業農村支援センターが契約書を作成して、判子を押すだけでいいようにそれぞれの方へお渡します。委員さんには今まで利用権については確認をしていただきましたが、中間管理については今まで確認をしていただけていない状況になっていますので、引き続きこの議案でご確認をいただくようになります。

議長（会長） 今の報告でよろしいですか。

小宮山委員 今までの利用権設定の書類は、特別やらなくてもいいということですね。

議長（会長） 支援センターに対して申請することだけです。

小宮山委員 貸し手、借り手の期間、借賃を事前に調整すればいいということですね。

事務局 そのようになります。

小宮山委員 了解です。

議長（会長） 出席者の委員の方もよろしいですか。制度が変更になりますので、月末までは受けられますが、4月以降は受けられません。他にご質問ありませんか。ないようですので、採決に入ります。第4号議案につきまして、賛成の方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手） ありがとうございます。全員賛成と認め、決定といたします。続きまして報告事項に入ります。報告第1号、農地法第4条の規定による届出について、事務局より説明をお願いします。

事務局

報告第1号です。1番 ○○番2、資料は①の16ページをご覧ください。場所は○○の○○にある農地です。○○の届出です。対象地○○平方メートルのうち、○○平方メートルの届出になります。

議長（会長）

ありがとうございました。この内容につきましては、届出の報告ですので、お聞きしたいことありましたら、挙手の上発言をお願いします。ないようですので、報告事項につきましては以上とさせていただきます。続きまして、第10回農業経営改善計画の意見聴取について今回は1件です。事務局より説明をお願いします。

事務局

農業経営改善計画の認定審査会の議案をご確認ください。2ページをご覧ください。農業改善計画の意見聴取について、今月は1件の更新申請があります。

○○です。認定農業者の更新申請となります。住所は○○番地です。営農類型は複合経営で稲作、果樹類、目標も同様です。現状年間所得は○○円、目標は○○円です。年間労働時間は○○時間、目標は○○時間となります。主たる従事者の人数は○○人です。生産について、水稻、トウモロコシ、リンゴ、プルーンを栽培していきまして、目標に向け水稻、リンゴの栽培面積を拡大し収量を増やしていくとともにプルーンの木が成長することで収量が確保できる予定です。トウモロコシは、目標に向けて規模縮小していきます。(3)農用地及び農業生産施設については、所有地、借入地については規模拡大に伴い増やしていきます。農業生産施設は、ビニールハウスを○○棟所有しており目標も同様です。③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置については、水田農地が点在しているため、規模拡大を目指す中で農地を集約し、移動時間の削減、作業の効率化を図っていきます。また、目標に向け、田植機を導入し、作業時間の削減を図ります。④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置については、現在と同様に○○に○○の作業を委託し負担を軽減させていきます。⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置については、作業スケジュール、作業内容を明確化し、家族、雇用者の休日の確保と農作業の効率化につなげていきます。経営の構成は、記載のとおりです。雇用者については、臨時雇用で人を雇っており、規模拡大に伴い労働力を確保していきます。生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画については、田植え機8条を取得する予定です。

議長（会長）

ありがとうございました。それでは、五十嵐委員より補足説明をお願いします。

五十嵐委員

〇〇と〇〇は〇〇歳後半で、〇〇に代を譲る準備に入っているというようにお話をしていました。大きく土地を増やすというよりは、今植えてある木の成長、技術の伝承をやっていきたいとおっしゃっていました。非常に〇〇も前向きに取り組んでいますので、よろしいかと思しますので後ろを押ししたいと思います。

議長（会長）

ありがとうございました。それでは、ご質問ご意見のある方は、挙手の上発言をお願いします。

小野委員

雇用に関してですが、〇〇が増加していますが、人材不足の補填が出来るのでしょうか。

議長（会長）

事務局から説明をお願いします。

事務局

農業分野に係るこれからの人材不足をどう補っていくかという観点からお話をさせていただきます。昨日、農福連携のお話があって福祉分野と、農業分野で人が足りていなくて、障害を持たれていますが農業の作業がどの程度出来るのかというマッチング、顔合わせ会がありました。その農業振興をやっていく中で、農業者さんが足りてない人手については、農福連携で補っていければいいと思っています。昨日、見てみると福祉も働きたい場所を求めていますので、上手くマッチングが出来れば、農業側からすると労働力不足を少しでも補えるという希望があると思っています。あとは、毎年やっていますが農業農村支援センターで、主にブドウですが5月、6月、7月初旬まで房切り等をお手伝いさんということで登録をしてもらって、派遣をするといったことがありますが、高齢化、人数が少なくなっているというのは事実です。どうやって、その人材を確保していくのかということは、今、課題にあがっている最中です。また、〇〇では〇〇から来る交流人口、またワインの人たちは来てもらってそれをお手伝いの手としています。そういったことを、どの程度増やしていけるのかというところで、人材を確保していかなければならないので、課題は多くあります。すべてが解決出来るかということ、現状、解決出来ない課題として残っている最中です。

議長（会長）

ただいまの報告でよろしいですか。

小野委員

はい。

議長（会長）

他にありませんか。ないようですので、第10回農業経営改善計画認定審査会は終了とさせていただきます。

本日の提案事項につきましては全案件終了とさせていただきます。ありがとうございました。

議事録署名人_____

(※直筆でお願いします)